

仙北市議会一般会計特別会計決算審査特別委員会

| | |
|------|------------------|
| 歳入合計 | 224億2,821万5,531円 |
| 歳出合計 | 215億7,847万7,733円 |
| 差引残額 | 8億4,973万7,798円 |

決算認定

平成十七年度仙北市一般会計、特別会計の十二議案の決算審査のための、仙北市議会一般会計等決算審査特別委員会が設置された。

なお今回は合併後の十七年九月二十日から、十八年三月三十一日までの決算審査である。

特別委員会は、委員長佐々木章、副委員長大石温基、委員、佐藤直樹、黒沢龍己、門脇健郎、青柳宗五郎、真崎寿浩、澤田信男、高久昭二、平岡均、戸沢清の十一名。

一般会計

問 固定資産税、入湯税の不納欠損、収入未済額の内容は。

答 固定資産税の収入未済額は二億四百二十九万三千二百十五円、人数は二千五百二名、入湯税の収入未済額は五百三十五万七千円、五件、入湯税については、適性申告にかけ今後も調査を継続していく。

問 高齢者協同生活補助事業の概要と特養入所待機者が複数いる家庭など、介護が困難なケースへの対応は。

答 高齢者協同生活補助事業は清流苑に委託して行っている。特養に入所については、現在申し込み順であるが、緊急性にも対応すべく国で検討されており、不公平感を生じないよう検討し

ていく。

問 生活バス路線のなかで事業者が廃止を計画している路線があると聞いたが本当か。

答 平成十九年十月一日以降の路線廃止の申し入れがある。仮に路線の廃止が決まった場合は、事業者に更に補助金を追加し運行継続を依頼するか、市民バスの運行、デマンド交通システムの採用など考え対応していく。

仙北市水道事業特別会計

問 高齢化などにより加入率が下ると思われるが、受益者負担の軽減策を検討しているか。

答 受益者負担は必要と考えられている。ただ高齢者などへの対応については減免措置

等の制度があり、その周知を計りつつ、事業を進めた

仙北市簡易水道事業特別会計

問 西木地区簡易水道の料金はどうなるのか

答 料金が急激に上がらないように高料金対策国交付金を受けているため、五年に一回程度の改定を行う計画である。

問 水道料金滞納者への給水停止の対応基準は。

答 未納が発生してから、約三カ月後に督促を行い、催

告、給水停止の通知をし給水停止という流れになる。

いろいろな部分で行政に対して住民がもっている不満が大きくなる感がある。きちんとした仙北市の姿を明示して、合併してよかったという施策をお願いしたい。

經常収支比率の引き下げに努力願うことと、市が一体となって進む執行体制、市民に安心を与えるような執行を願いたい。

以上の意見が出され十二議案、原案を認定と決定した。



慎重審査をする特別委員会